

平成30年7月9日

青森県教育庁文化財保護課

三内丸山遺跡保存活用推進室

〒030-8540 青森市新町2丁目3-1
TEL (017) 734-9924
FAX (017) 734-8280

三内丸山遺跡縄文時遊館

〒038-0031 青森市三内字丸山305
TEL (017) 781-6078
FAX (017) 781-6103
URL <http://sannaimaruyama.pref.aomori.jp/>

三内丸山通信

発掘調査はじまりました！

三内丸山遺跡では、遺跡全体のすがたや、ムラの移り変わりを把握するため、毎年発掘調査を行っています。

今年度は第42次調査として遺跡北端部において、沢跡の左岸と北端部の盛土（土砂や土器や石器などを捨てた場所）の範囲や第6鉄塔西側の遺物包含層の有無などについて調査します。

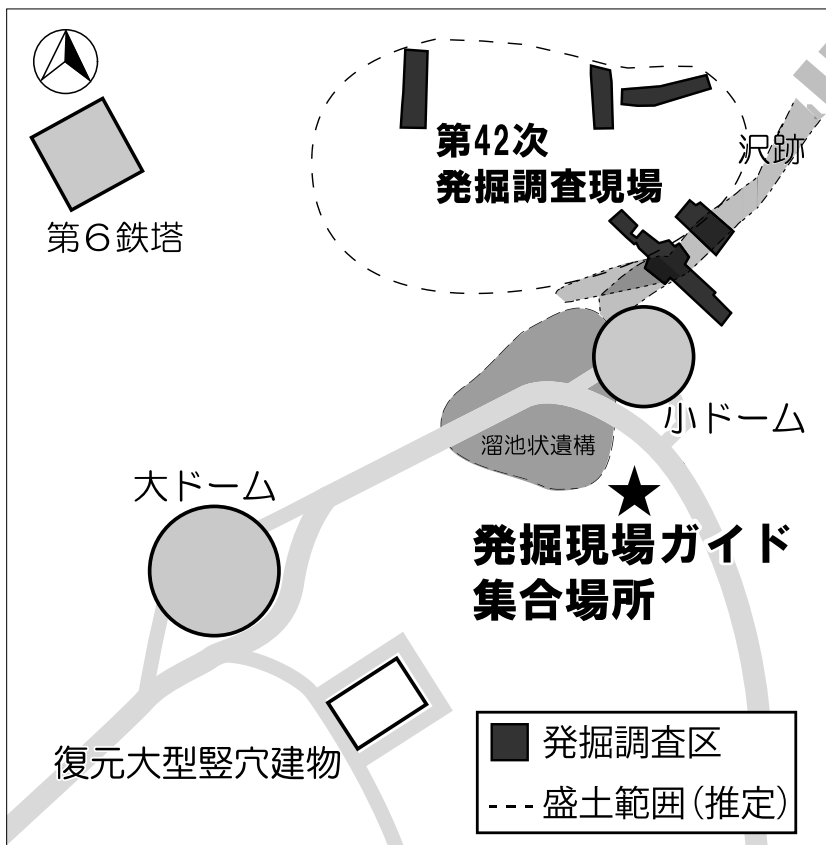
沢跡については、南西～北東方向にのびることが昨年度までの調査でわかりました

が、幅の大部分は分かっています。この幅を調べるために、昨年度調査したトレンチと呼ばれる試掘溝を再度掘り起こして土の重なりを確認するとともに、北東側に新たにトレンチを設定して平面からも左岸の確認を行います。沢跡が埋まったのは縄文時代中期後葉（今から約4300～4100年前）、沢跡と接する北端部の盛土が作られたのは縄文時代前期末葉～中期初頭（今から約5000～4800年前）と時期が異なります。また、沢跡に堆積する土には砂が含まれますが、盛土には含まれません。これらの情報と、今年度調査の情報を集めて沢跡と盛土の境を明らかにし、沢跡の幅を決めることができると考えています。

北端部の盛土の範囲については、これまでの調査で西側と南側が判明しています。北側と東側については北側斜面にトレンチを設定して範囲を調べます。第6鉄塔西側では、これまで調査を行っていない範囲で、縄文時代の遺物包含層の有無などについて調べます。

発掘調査現場は、7月3日（火）から平日のみ公開します。公開日の午前11時から、発掘調査を担当している職員が、現地で20分ほどの「現場ガイド」を行います。公開は9月17日（月）までを予定しています。発掘に対する質問などがあれば、何でも気軽に聞き下さい。

また、三内丸山遺跡のホームページでは、「発掘最前線」というコーナーで、調査の様子を毎週更新しています。こちらもぜひチェックしてみてください。



【第42次（今年度）発掘調査位置図】

縄文時遊館の増築工事が終了しました



【増築棟イメージ】

平成30年3月に、1年半行っていた縄文時遊館の増築工事が終了しました。現在は、平成31年4月の本格オープンに向けて、開館準備を進めています。増築棟には、魅力的な特別展を実施する企画展示

室やガラス越しに見学できる収蔵庫などが整備されます。今年11月には、本格オープンに先立ち、増築棟の一部を一般公開する予定です。楽しみにお待ちください。

発掘現場公開・現場ガイド

【現場公開日】

毎週月曜日～金曜日
（～9月17日まで（予定））

※土日祝、8月13～17日は休み。このほか、雨天時や臨時の休止日は公開を中止する場合があります。

【公開時間】

午前9時～正午・午後1時～午後5時
※正午～午後1時は昼休みのため、公開していません。

【現場ガイド日時】

現場公開日 午前11時～（約20分）

【現場ガイド集合場所】

遺跡内小ドーム（子供の墓）付近



【縄文木こりの様子】

ものづくりなどの体験から三内丸山遺跡や縄文文化にふれる「さんまる縄文体験」の、今年度第1回目を6月2日に開催しました。「遺跡を守る①縄文木こりで外来種を伐採しよう!」をテーマに、縄

さんまる縄文体験

さんまるミュージアムの出口付近に、プロジェクトシンマツピングを新たに設置しました。「自然と生きる縄文」をテーマに、北海道から東北地方にかけての立体地図に、縄文時代の自然環境や三内丸山遺跡を中心とした縄文文化を映像により、いきいきと表現しています。

プロジェクトシンマツピング完成



【上映の様子】

生き抜いた三内丸山遺跡の縄文人の様子がわかりやすく理解できます。ご来場の際にはぜひご覧下さい。

文時代に利用されていた樹木について学んだ後、現在遺跡内に生えている木を観察しました。その後、磨製石斧という縄文時代にも使用されていた斧おのを使って、外来種のニセアカシアを切りました。夏休みには発掘体験ができる「考古学者になろう」や、本物の土偶どわうから、(本物)そっくりのレプリカを作る「レプリカを作ろう」などの体験を行う予定です。秋に行われる北の谷において外来種のアメリカザリガニ釣りを行う「遺跡を守ろう②ザリガニ釣り」や、縄文時代に使われた釣り針と同じものを作って、実際に魚を釣る「鹿の角で釣り針を作ろう」と

さんまる縄文体験 今後の予定

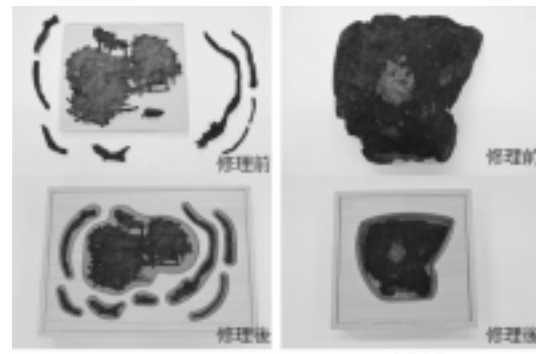
考古学者になろう	8月1日(水)
レプリカを作ろう	8月4日(土)
遺跡を守ろう②ザリガニ釣り	10月6日(土)
鹿の角で釣り針を作ろう	10月13日(土)

※縄文体験のお申込みは縄文時遊館にお問い合わせください。(017-781-6078)

いった、体験を行います。さんまる縄文体験のメニューや申込み期間については電話やホームページでご確認ください。

三内丸山遺跡の出土品の一部は、国の重要文化財に指定されています。その数は、1958点です。平成15年に指定されたから約15年が経過し、中には修理や補強が必要なものも少なくありません。そのような遺物を毎年、専門業者をお願いして少しずつ修理しています。昨年度は、編物1点、木製品1点、骨角器2点を修理しました。編物、木製品は特に壊れやすい

三内丸山遺跡の重要文化財を修理しました!



【平成29年度に修理した重要文化財(一部)】

ため、保管や取扱いに細心の注意が必要です。今年度は、編物1点、土器2点、骨角器2点を修理する予定です。

イベントのお知らせ

7月28日(土)・29日(日)に三内丸山縄文夏祭りを開催します。夏の遺跡で、縄文文化を楽しく学んで遊べるイベントをたくさん用意してお待ちしています!

9月15日(土)・17日(月)・祝)は、縄文に触れ・親しみ・トコトン楽しむ三日間「さんまるJOMONの日」と題して、たくさんイベントを三内丸山遺跡で行います。昨年度大人気だった「三内丸山遺跡競技大会 さんまるジョモリンピック」や「発掘現場現地説明会」などを行います。みなさまのご来場をお待ちしております。



【ジョモリンピックの様子】



【発掘ひろばの様子】

三内丸山縄文春祭りを開催しました!

ゴールデンウィークの5月3日(木・祝)・5日(土・祝)に三内丸山縄文春祭りを開催しました。悪天候の日があったにもかかわらず、3日間で約12300人にご来場いただきました!ありがとうございました。「発掘ひろば」

「縄文パノラマビュー!!」などの大人気イベントを今回も開催しました。また、縄文のものづくり・生活体験では、イベント期間限定の体験メニューも行い、大盛況でした!

三内丸山遺跡のご案内

休館日 見学料
12月30日～1月1日 無料
開館時間
10月～5月 : 9時～17時
GW中・6月～9月 : 9時～18時
(入場は閉館の30分前まで)
さんまるミュージアムの定時案内
10時30分～、13時30分～の2回(所要時間約20分)
ボランティアガイドの定時案内
1回目は9時15分から
2回目以降は10時から1時間ごと
最終回は16時から
(10月1日以降は15時30分が最終回)
所要時間:約50分
見学お問い合わせ先:三内丸山応援隊017-766-8282
公共交通機関
□青森市営バス
JR青森駅から⑥番乗り場 三内丸山遺跡線
三内丸山遺跡前で下車 料金310円 約30～40分
□ねぶたん号
JR新青森駅東口
三内丸山遺跡前で下車 料金200円 約15分